



丸の内・銀座地区における都市脆弱性の変遷と Google Earth を用いた都市復興デジタルアーカイブズの構築

五十嵐政泰¹⁾、村尾修²⁾

- 1) 前筑波大学大学院システム情報工学研究科、修士（社会工学）
2) 筑波大学大学院システム情報工学研究科、准教授 博士（工学）
e-mail : murao@risk.tsukuba.ac.jp

要 約

本研究では、異なる時代ごとの都市の脆弱性（建物倒壊危険性と延焼火災危険性）を定量的に評価する重回帰モデルを構築し、古地図等を用いることにより東京の丸の内地区と銀座地区の脆弱性の変遷を明らかにした。また両地区における20世紀の復興の経過を脆弱性の変遷を通して理解することを試みた。そして紙媒体から得られたこれらの情報をGoogle Earthをプラットフォームとしたデジタル媒体に変換し、復興デジタルアーカイブズとして再構築した。

キーワード： 都市復興アーカイブズ, Google Earth, 丸の内, 銀座, 都市空間, 都市リスク